



秋の味覚 なめこ

「長野県食育フェスティバル」

「農のまつり」同時開催

10月12日(日)に飯山市戸狩トピアホールで「長野県食育フェスティバル」と「農のまつり」及び小学生を対象にした「農業に関する作文・図画コンクール」が同時開催されました。

会場では、農のまつり恒例の農業委員による採れたて越冬野菜の直売を行い、

坂井芋や常盤牛蒡、鍋倉高原産大根、ズッキーニ、やまびこしめじなどを販売し、大盛況でした。

また、次代を担う子供たちに対し、農業への関心をもってもらい、「魅力ある農業」の発見をってもらうことなどを目的とした作文・図画コンクールでは、各学



最優秀賞作品 受賞者の学校名・氏名

作文の部・最優秀賞
 「農業の大事さ」
 木島小学校5年 渡邊 みず季さん
 私は農業が大変だと思

校の協力により、作文の部80点図画の部158点と例年にも増して多数の応募をいただきました。

なお、ホール内では図画の全作品と作文の入賞作品を展示し、大勢の来場者にご覧いただき、併せて当日午後には飯山市農業賞と作文・図画コンクール最優秀賞と優秀賞の表彰式を行いました。

私も通っている木島小学校では、各学年ごとに、野菜作りなどやっています。私の学年では、二つの畑があります。一つの畑では、さつまいも、枝豆、ズッキーニを育てています。もう一つの畑では、二班ごとに分かれて、トマト、キュウリを育てています。

学校の近くの畑は、水くれ当番を決めてやっています。けれども、二班ずつに分かれて野菜を作っている畑では、班の中で、水くれをしなくては

ます。でも、農業をやっていると嬉しい事があると私は思います。協力しあって野菜などを作って、食べられるようになること、嬉しいからです。だから私は、農業やっていると嬉しいことあると思っています。

私が通っている木島小学校では、各学年ごとに、野菜作りなどやっています。私の学年では、二つの畑があります。一つの畑では、さつまいも、枝豆、ズッキーニを育てています。もう一つの畑では、二班ごとに分かれて、トマト、キュウリを育てています。

私が一番育てるのが大変だと思ふ野菜は「キュウリ」を育てる事です。理由は、キュウリは育つのが早く、最初は小さかったのに、知らないうちに、すっごく大きくなっているのです。毎日、畑に行かないといけないので大変です。

農業が一番大変なところは、「毎日せわをする、草を取る」というところです。私はつごうのいい日しか畑に行きません。草がすっごくのびても、草を取ることを忘れてしまいます。

私はおいしい野菜など食べたいけれど、しっかりとせわをしなくちゃおいしい野菜などが食べれないから、「おいしい野菜が食べたい」と思っているだけじゃなくて、せわをすることも、大事です。なので、おいしい野菜などを私は食べたいから、しっかりとせわをして、野菜作りなどをがんばっていきたいです。

図画の部・最優秀賞



「おもしろかった田植え」
 戸狩小学校5年 小林 凱人 くん

作文の部・優秀賞

- 秋津小学校5年 山崎 美法さん
- 木島小学校5年 丸山 紗貴さん
- 戸狩小学校5年 岸田 麻鈴さん
- 秋津小学校6年 小林 実咲さん
- 東小学校3年 鈴木 峻牙くん
- 秋津小学校5年 徳竹 千春さん

作文の部・優良賞

- 秋津小学校5年 錦織 稀女さん
- 木島小学校5年 伊東 丈くん
- 木島小学校5年 内堀 裕文くん
- 常盤小学校5年 田中 航大くん
- 戸狩小学校5年 小澤 楓花さん

図画の部・優良賞

- 東小学校1年 達家 香里さん
 - 秋津小学校2年 清水 優衣さん
 - 岡山小学校2年 田中 鈴乃さん
 - 木島小学校4年 鈴木 駿矢くん
 - 常盤小学校5年 藤本 智元くん
 - 戸狩小学校5年 沼田 祐人くん
- たくさんのご応募ありがとうございました。受賞者のみなさん、おめでとうございます。

飯山市農業賞「花咲く会」を表彰

市農業委員会では、例年市の農村、農林業の振興発展に尽力された方や団体を表彰しており、今年も常盤地区の「花咲く会」(会長 兼子喜男氏)に決定しました。

同会は平成11年に設立されて以来、常盤地区千曲川河川敷の遊休農地を活用して、14ヘクタールという広大な面積に菜の花の植付けを続け、今年もさらに、枝豆の栽培、収穫販売にも取り組むなどの活動が評価されたものです。

今後もさらに、遊休農地・耕作放棄地拡大の防止対策や、付加価値の高い農産物の研究に取り組まれるなど、ご活躍を期待いたします。



受賞謝辞を述べる兼子喜男会長

図画の部・優秀賞

- 岡山小学校1年 齋藤 宙くん
- 木島小学校4年 堀 なる桃さん
- 戸狩小学校5年 出澤 宏貴くん

